

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2022

5月号
vol.670

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



特集

景況調査は宝の山

21世紀型
自立型
企業づくり

『経営指針書』で会社創立がスムーズに

内野 克彦 氏 やわらか製作所株式会社

動画も観れます



ポケット月刊同友

同友会 三つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし レポート

今月の自立型企業づくり



やわらか製作所株式会社
代表取締役
内野 克彦 氏 (りょうちく支部)



私が内野さんをご紹介します

株式会社カラーリングファーム 代表取締役
檀原 憲一 (りょうちく支部)

内野さんとは同友会入会が同じ時期でした。始めは会社の幹部として参加されていましたが、その後独立して現在はウレタン加工の事業を行われています。

内野さんを一言で紹介すると「有言実行の人」です。支部活動への参加の声かけや運営に関する細やかな気配りなど一度引き受けられたことは最後までできっちり実行されます。

3年前の支部の新春講演会は内野さんが企画されましたが、報

告者との打ち合わせのために全国行事に参加され、運営も中心にされるといって活躍でした。

普段は論理的で冷静な内野さんですが、同友会活動で地域を良くするんだという熱い思いを持った方です。

現在はりょうちく支部長の他に会外でも複数の役を担っておられます。一体いつ休まれているのかという行動力を発揮されています。

今後とも会社をさらに良くされるのではと思っています！

今月の表紙



やわらか製作所株式会社 代表取締役 内野 克彦 さん (りょうちく支部)

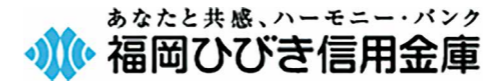
撮影・文 / 株式会社ココスイメージ 富谷 正弘 (玄海支部)

りょうちく支部の内野さんをお訪ね致しました。撮影場所はやわらか製作所の工場(日田市)です。工場ではウレタンを加工しています。柔らかな笑顔が素敵な内野さんの表情が撮ることができました。社名の「やわらか製作所」にあるように、やわらかで柔軟に対応することができる人だと感じました。撮影にご協力いただきありがとうございました。



contribution

会外からの寄稿



福岡ひびき信用金庫は 皆様の事業承継のご相談にお応えします!!

事業承継は親族内承継や第三者承継など様々なかたちがあり、株式や税金の問題など専門家の支援が必要なケースがあります。どこに相談してよいか迷った時、福岡ひびき信用金庫では、お客様のお話をお聞きしてプラン作成のお手伝いや専門家へとお繋ぎしています。

事業承継についてお気軽にご相談ください

主な 支援メニュー

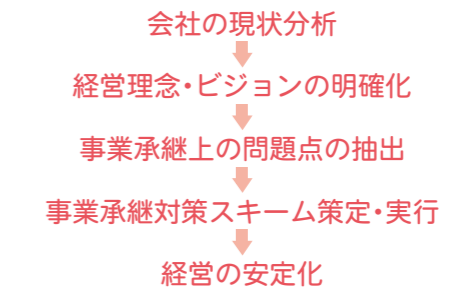
- 事業承継対策 (親族内株式譲渡) 支援
- M&A (第三者への株式譲渡) 支援
- MBO (従業員等への株式譲渡) 支援

福岡ひびき信用金庫

総合的なプラン
策定実施支援

外部提携機関
との連携対応

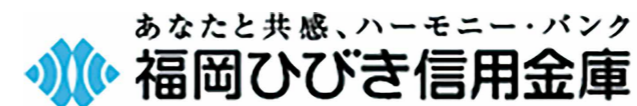
事業承継成功のポイント



毎年開催しております2022年度の「第38期福岡ひびき経営大学」は年間統一テーマを「**地域企業の事業承継～なにをつなぐか どうつなぐか～**」と題し、各方面でご活躍の講師をお招きして令和4年6月より開催予定です。奮ってご参加ください。



一般社団法人ベンチャー型事業承継と連携してアトツギ育成も応援しています!!
オンラインセミナーも開催しておりますので、ぜひご参加ください!!



お問い合わせ

福岡ひびき信用金庫ソリューション営業部
事業承継グループ
TEL 093-661-2414



Minami Fumiaki

南 史聡氏
(西支部)



Sadaike Tatsuhiko

貞池 龍彦氏
(中央支部)



Shinnai Kazuaki

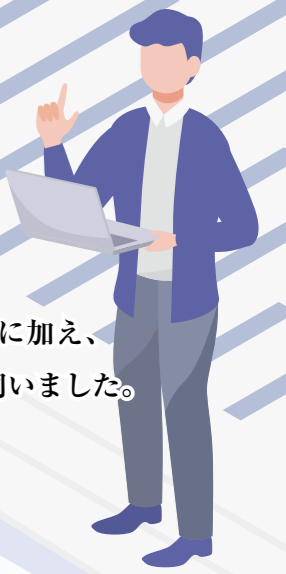
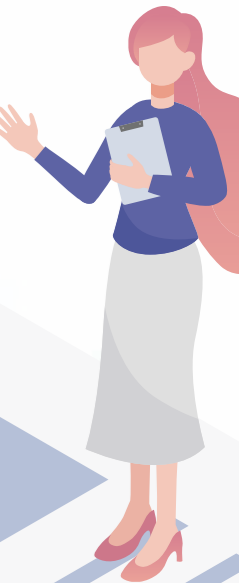
新内 一秋部長
(南支部)



景況調査は 宝の山

将来を見通し、経営を見直す

景況調査の活用術



福岡同友会では、四半期に一回景況調査を行っています。e.doyuやファックスで回答する方式で、現在は三百名程度の会員から回答を得ており、月刊同友でもダイジェストを掲載しています。

今回は景況調査の目的や活用方法などについて、景況分析部の新内一秋部長(南支部)に加え、景況調査分析会議に出席されている貞池龍彦さん(中央支部)にアドバイザーとしてお話を伺いました。

南 まず景況調査の背景ですが、いつ頃からスタートしたのでしょうか。
新内 これは平成四(一九九二)年から始まっています。バブルの後、中小企業の経営環境が非常に悪くなって、その時にいわゆる景況という意識が高まってきまして、それで中小企業に対して経営の実態を調査しようということでスタートしました。そして、五年後には今の形ができあがりました。最初の頃は、資金や金融の調査が主で、往復はがきでやっていたようです。

南 他県ではこのような調査を行っているのでしょうか。
新内 まず中小企業家同友会全国協議会(略称…中同協)ではDOR(同友会景況調査報告)を実施しています。これは全国各地同友会会員を対象に実施しているもので、調査票を直接送って回答を得ています。その他、各地では、二十くらいの同友会が実施しています。

知ることができないような意見を聞くことができる場合もあるので、それぞれの企業がどういう経営環境にあるかということはとても参考になります。
南 分析会議というと、とても固い話をするような印象を受けますが、どのような話をされているのでしょうか。
新内 まず、中小企業診断士の榎本典之さん(有)エムケイブレーン・南支部)に調査結果の集計をしていただいています。その集計結果を榎本さんにコメントをいただきながら、それから見えてくるものを掘り下げるという形でやっています。集計された数字から見えること、感じられることを自分の経営感覚との比較や課題を見出すような意見交換をします。そこに三輪先生にコメントをもらいながら進めていきます。

今後は分析会議のやり取りの中で出てきた課題をピックアップして、報告書の肉付けをしたいと考えています。今は集計結果が出

県南地区の声をできるだけたくさん拾っていきたく思います。
南 次に、四ヶ月に一回景況調査分析会議をしていると思うのですが、この内容について教えてください。
新内 景況調査分析会議は、今は十名くらいの会員に加えて九州国際大学の三輪仁教授にアドバイザーとして参加いただいで、集計されたデータを分析しています。
南 景況調査の最後の質問に、景況調査分析会議に出席しますが、どのような質問がありますか。
新内 そうですね。景況調査分析会議には意見をいただく立場で参加をいただいています。各地区での実態、肌感覚の意見というのは分析会議の中でも大切なポイントです。そのため、各地区の方に参加をいただくように呼び掛けているところです。
貞池 私は参加者の一人ですが、各地域各業界のことが分かるという点では、大変な学びになると思います。また、我々では絶対に

南 そういところの連携ができれば良いですね。
新内 実は関西ブロックでは、大阪や京都などの各府県での調査の他に、関西ブロックでの調査を行っています。福岡同友会では中小企業の生の声をタイムリーに得られるということで、マスコミとの懇談会の中でお伝えをしているのですが、やはりもっと広範囲の調査結果が欲しいという意見をいただいています。
ただ、同友会の景況調査は福岡県内で調査をするというところに意味があると思います。県内に四地区ありますが、それぞれ結果が違うのです。そして、自社はその地区の中で仕事をしているわけですから、ある程度絞られたエリアの中で、景況がどのようになっていくのか、そして自社はどのような立ち位置なのかを知ることが大事だと考えています。
それだけに、今は会員数の関係で福岡地区の会員さんの声が多いので、北九州地区、筑豊地区、

CHECK!

ホームページでチェックしてみよう

景況調査はどなたでも閲覧可能!

1 同友会の公式ホームページを開く

同友会の公式ホームページ (<https://www.fukuoka.doyu.jp/>) を開き、「刊行物」メニューをクリックします。



2 PDFデータで閲覧ができます

景況調査の記事の最後にPDFデータを閲覧・ダウンロードができるページへ飛ぶことができます。



取材協力ありがとうございます。

将来について、自社と他社の考えがずれているとき、そこには何か理由があります。その時に客観的な調査データがあることは、自社の方向性を確認するための強い材料になります。今回は長く続いてきた景況調査について、その有用性をお話しいただきました。

新内 現在、福岡県との懇談会や記者懇談会、金融機関との懇談会などの機会にお伝えしています。中小企業の生の声を捉えたデータということで、重宝されています。また、どなたでも見られるようにホームページにアップしています。今、このコロナ禍で資金繰りが厳しい中で、中小企業が何を求めているのかということ、行政や金融機関などに伝えていきたいと思

っています。
南 そうするとやはり回答者を増やしたいところですね。
新内 そうですね。ただ、数字は結果であって、やはり会員のための調査ということをいかに会員に伝えるかということが第一だと思っています。そして、その結果、参画してくれる会員が増えることなのだろうと思います。
そうはいつでも、やはり回答者

を増やしたいという思いはあって、できれば千名くらいの回答があれば、インパクトは大きいと思います。ですので、千名を目指すということではなくて、千名になるようにどう取り組めば良いかだと思います。
南 最後にお二人からコメントをお願いします。
新内 今はまさに先行きが見通し

てから分析会議までの日が短いので、メンバーの方が何日か考える時間を取って、会議に臨めるよう進めたいと思っています。
南 報告書は月刊同友にも掲載していますが、やはり分析項目が多いですね。
新内 そうですね。数字ばかりだとしげしげと読まないと思いますので、リニューアルも考えています。今、教授のコメントはそれぞれの分析の中に入っているのですが、もっと盛り込むようにも考えています。

真池 たえば先行き感について



づらい環境になってきています。今までの経験則が成り立たないし、変化も早いですね。ですから将来を見通すことを意識しないと足元をすくわれかねません。そういう意味でも景況調査の目的を多くの会員さんに知っていただき、調査に回答して調査報告書を活用していただきたいですね。
貞池 景況調査は外部に発信しているのでしょうか。



景況調査アンケート画像

南 報告書の部長談話というのは新内さんが書かれているのですか。
新内 そうです。毎回悩んでいます(笑)。分析会議でいるんなキーワードが出てくるので、それをまとめていきます。見出しみたいなものがあると分かりやすいだろうと思いますので、苦労しながら毎回書いています。

南 会員が景況調査を活用するにはどうすれば良いのでしょうか。
新内 まず景況調査に答えることで、定期的に自社の経営のチェックができるということですね。四半期に一度自社の状態を見直して、それから集計結果と見比べて、自分の感覚と差があるかどうかなどを考える機会を作るといった、まさに会員のための景況調査だと思います。それから、景況調査を見て情勢や景況に関するアンテナを張るとするのはとても大事なことです。

この四半期の景況調査が、自己

点検の機会ということで、これをいかに経営指針に活かすかということをお伝えしたいと思います。たとえば我が社で最近始めたのは、月に一回の幹部会議で景況調査報告書を見ながら、自社の課題を確認するというをやっています。
南 つまり、将来リスクの確認ができるということですね。
新内 そうですね。見えない未来をどう見えるようにするか、そして、どう手を打っておくかということが重要です。景況調査から見えてくるリスクが、いずれ我が社にも影響が来るだろうということが見えてきます。福岡同友会の過去三十年の動きというデータがあるのですが、例えばリーマンショックの時などは予兆がでていた。そういう予兆を読む習慣を会員のみならずにもぜひつけていただきたいと思っています。



『経営指針書』で 会社創立がスムーズに ビジョンも明確に

断熱性に優れ、劣化しにくく、意匠性が高いなど様々な特長があります。医療器具(磁気の入ったマットレス)を作るという衛生的な作業場には、1.1m×1.1m×2.1mの大きな食パンのような原料のウレタン材(約60kg)がありました。



人よりもサイズの大きなウレタン材

生い立ち

内野さんは昭和48(1973)年に浮羽郡田主丸町(現・久留米市)に生まれます。専門学校を卒業して福岡市内の会社に就職し、サービス業や営業の畑を歩みます。その後、高校(藤蔭高校)のあった日田市に職を求め、自動車部品製造・ウレタン加工を営む中山化成(有)に入社します。平成16(2004)年、30歳の時です。同社では営業を担当しました。同社の谷口知幸社長は大分同友会の会員(現・副代表理事)で、「経営者の知り

合いができた方がいいだろう」と、大分同友会の日田支部に入会します。しかし、当時は内野さん自身が経営者ではなく、なかなか馴染めなかったと振り返ります。ほとんど参加しない内野さんを見て谷口社長は同友会に籍を置き続けるか質(た)します。内野さんは、大分同友会を退会して福岡同友会に入会し、自宅のあるりょうちく支部に所属することにしました。そして平成25(2013)年、あすなる塾と経営指針作成セミナーに参加し、経営指針書の作成の意義を学びました。翌年、ウレタン部の責任者となりました。

ターニングポイント

平成27(2015)年、同社はウレタン部を閉鎖するという大きな決断をします。内野さんには役員として残るよう打診がありましたが、ウレタン事業に対する愛着やお世話になったお客様のことを思い、熟慮を重ね「別会社にしてやらせてください」と談判します。さらに当時事業部にいた3名の社員は別会社へ移ってもらい、工場も使わせていただきたいとお願いしました。その要求はほぼ認められました。「谷口社長には感謝しありません」

内野さんは、日本政策金融公庫福岡支

やわらか製作所株式会社 代表取締役

内野 克彦 氏

りょうちく支部

会社創立に先立って『経営指針書』を作成した内野克彦さん。同友会の学びを経営に活かしていくのでした

取材 広報部
文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 富谷正弘(玄海支部)

発泡ウレタンって何？

今回の取材は大分県日田市にある、やわらか製作所(株)の工場にお伺いしました。会社に着くと内野克彦さんが笑みをたたえて迎えてくれました。

「ウレタン加工を中心にポリエチレンや発泡ゴム・発泡スチロールの加工をしています。マットレスや枕・クッションは縫製から中身まで、ワンストップの『Made in Japan』です」と話してくれました。さらにはフェリーの中の寝具や野球場のフェンス、車の部品を輸送する際の養生材、小さなものではイチゴや明太子などパックの底に敷かれているものなどオン・デマンドの対応をしています。工場内には、直径4mはあろうかという大きなレコード盤のような機械があり、ターンテーブルの上に置かれたウレタンが回転して、待ち構えるカッターを通るときれいに切断されていきました。



厚さは5mmから加工できるそうです。隣では反物(巻物)から伸びていくポリエチレンが切断されていき野球場のフェンス部品になっていきました。発泡ウレタンとは、いわゆる「スポンジ」を指しますが、ポリウレタン樹脂に発泡剤を混ぜたもので、硬質発泡ウレタンもあります。

店に融資の件で走ります。会社がないと融資できないことから、翌年に「やわらか製作所(株)」を設立しました。会社所在地は久留米市、工場は日田市(中山化成本社工場内)としました。社名には、ひらがな表記でインパクトがあり扱う商材がイメージできること、商材だけでなく営業姿勢も柔軟に対応できることが込められています。

改めて同友会活動

同友会活動も本格的に再開し、部門責任者と経営者では、考え方が全然違うということを実感しました。それは役員研修大学に参加した時のことでした。拓新産業(株)の藤河次宏さん(南支部所属)の経営体験報告に強い印象を受けたのです。社員が生き生き働くようにと現在実行している「ノー残業、ノー休日出勤」はここで学びました。

経営指針作成セミナーにも改めて参加しました。策定した経営理念は次の通りです。

『心地よさの追求』

会社はお客様のお役に立つために存在します。私たちは心地よさの提供で、お客様に必要とされる会社になります。心地よさの追求は会社と社員のためにもあります。会社の発展を考え社員のもの両面の充実を図ります。



ウレタン材がターンテーブルに置かれ回転して切断される

第60回

定時総会(社員総会)のご案内

- 第1部** 14:00 ~ 15:45 基調講演
第2部 16:00 ~ 18:00 総会議事・総会表彰
第3部 18:30 ~ 20:00 交流会

日時

2022年
5月11日(水)14:00開会
(13:30受付開始)

基調講演 激変の時代、全社一丸の経営を

同友会理念で地域に希望と未来を
～(株)EVENTOSの新しい挑戦～報告者 川中英章氏
(株)EVENTOS 代表取締役社長/広島同友会

飲食事業からスタートした(株)EVENTOSの川中氏は同友会入会后、継続的な共同求人ビジョン策定で着実に会社は成長し、地域牽引企業に選ばれるまでになりました。しかし、コロナ禍で飲食事業やブライダル事業の売り上げが激減して行きます。そのような危機的状況の中でどのようなことに取り組んだのか、また今後の新たな事業展開についてご報告頂きます。今経営者に必要なものは何か、苦しみがいている多くの経営者に勇気と希望を与え、今後の経営に活かせるヒントを頂きたいと思えます。

27歳で起業し飲食事業(仕出し)を始める。広島市内でケータリングサービス、飲食店、ワインショップなどを経営。2004年に広島同友会に入会し、共同求人活動で新卒採用を開始。現在はコロナ禍でパーティー、ブライダル事業が減少、レストランを閉店し、業態変化を行いキッチンカーでの営業や事業再構築支援を利用し飲食を通したまちづくり事業を手がける。

所在地：広島県広島市中区舟入中町4-35
 設立：昭和61年10月1日
 資本金：4,000万円 社員数：55名 売上：3億8,300万円



場所 萃香園ホテル

(※コロナ感染拡大の状況で、Web開催になることがあります)

住所 福岡県久留米市櫛原町87

TEL 0942-35-5351

会場へのアクセス等

<http://www.suikoyen.co.jp/overview/access.html>


交流会参加費 6,000円

※キャンセル期限：4月28日(木)まで。

4月29日(金)以降のキャンセルは全額ご負担いただきますのでご了承ください。

下請け体質や季節依存型では安定した売上ができないと反省的
 環境に左右されない自立した「モノづくり」を目指したい



安定した売上のための戦略

下請の比率を下げるために直接取引の交渉を始めました。

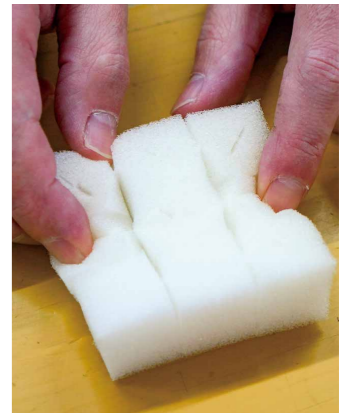
従来はB to Bの取引がほとんどでした。そこでHPを活用してB to Cの商材を開発しました。一例として、水耕栽培用ウレタンがあります。コロナ禍となって自宅で過ごす時間が増え、レタスやカイワレ大根などを栽培する人が増えています。調べてみると、ネット付きの台所用スポンジを自分で細工していることがわかりました。そこでウレタンに切り目を入れて「お試しセット」としてレタスの種と一緒にしてHPで販売してみました。「これはB to Cの売上確保というよりも、初めの一步として話題づくり、自社の認知度を上げる作戦です。自

実質的な営業開始

平成29(2017)年より実質的な営業が開始しました。お客様をそのまま引き継いだことで順調なスタートとなり、2期連続での黒字を計上します。しかし翌年赤字となりました。内野さんは「読み間違えました」と言います。その年、大手自動車会社がモデルチェンジを行わなかったため、それに伴う養生用の緩衝材の受注が少なかったこと、暖冬になり断熱性を求める商品(DIY向けの住宅の隙間を埋める隙間テープなど)の受注が少なかったことが理由です。「下請体質や季節依存型では安定した売上ができないと反省しきりです」。そして迎えたコロナ禍で内野さんは戦略を練り直します。

内野さんは下請をすべて否定していただくわけはありません。安定した売上の確保はもちろんのこと、豊富な情報源、求められる技術力、「カイゼン」にみられる品質管理、厳しい時間管理など、仕事をしていく上での多くの学びがあります。これらを踏まえて自立した「モノづくり」を目指していきます。

分でもレタス栽培して食べてみました。おいしいですよ」と笑顔を見せる内野さんでした。ちなみにHPのデザインは同じりょうちく支部の大熊充さん(うきはの宝株)にお願いしました。



切れ目を入れたウレタン

オリジナル製品をつくるメーカーを目指す

「すべて『経営指針書』の作成と実践のおかげです」と内野さんは言います。「創業の際、金融機関からは「ここまで(経営指針書)できていて会社を始める人はいませんよ」とお褒めの言葉をいただきました。社員たちとは、付き合いは長いものの、やはり成文化した理念があることで一丸となっています。そしてビジョンにおいては、メーカーとしてオリジナル製品を企画・製作・販売をすることが明確になりました」

取材の最後に内野さんが考える自立型企業についてお伺いしました。「外的環境、例えば景気に左右されない

やわらか製作所株式会社

創業 2016年7月

住所 (本社)久留米市田主丸町船越1170-5
 (工場)大分県日田市大字川下133-6
 (中山化成本社工場内)

電話 0973-29-8787

従業員数 正規3名

URL <http://yawaraka-seisakusyo.com>

事業概要 ウレタン、ポリエチレン加工、マットレス・枕等は縫製から中身まで一貫生産できます。



強い会社でしょうか。わが社で自立と言えは工場をお借りしていますから、そこからまず一歩踏み出していきます。そして目指すはオリジナル製品を持つメーカーです。そのためにも人材を増やさなければなりません。今後、新卒採用も視野に入れていきたいと思えます」と力強く締め切りました。

取材協力ありがとうございました。

支部の垣根を超えた若手経営者の交流

福岡県中小企業家同友会 青年部連絡会



こんな風に青年部連絡会を活用してください

普段の活動ではどうしても自身が所属しているブロック、支部での活動が中心になっていきます。合同例会や県の行事に参加すれば他支部の会員と交流する事がありますが、普段の例会で積極的な交流をすることは難しいですし、どうすれば良いのかわからない事が多いのではないのでしょうか。また支部に若手経営者の会員が少ないなど先輩方に気を遣って思うように発言できないこともあるかもしれません。そんなときは、青年部連絡会に顔を出してみてください。



青年部連絡会とは

福岡県中小企業家同友会の45歳以下の会員全員が所属する青年経営者による連絡会です。

福岡県の青年経営者をはじめ、さまざまな経営者とのつながりを大事にし、地区、支部等の垣根を超えた交流により同友会活動、支部活動を活発化していきます。

青年部連絡会の活動指針を記したクレド



理念

垣根を超えて交流し、未来を創造する経営者となる。

Value

切磋琢磨の自分づくり
積極果敢の人づくり
試行錯誤の組織づくり

Spirit

1. 夢は熱く語るもの
2. 気遣いと遠慮は全く別
3. つながりは自分がはじまり
4. 上を向いて成長する
5. 時を共にする仲間への感謝

活動について

各支部より代表者1名もしくは2名が出席する幹事会で例会、勉強会等の企画会議等を行っています。

以前までは中小企業振興センターなどに月一度集い幹事会を開催していましたが、今はZoomにて毎月の定例幹事会を行っています。昨年度連絡会内では「互いの会社の事を知ろう」をテーマに会議の後にミニ報告会を行いました。青年部連絡会は支部を横断しての活動なので、自身の支部でどんな活動をしているのか知らない事も多く、良い交流の機会となりました。

直近の5月13日(金)には長崎で九州沖繩の同友会青年経営者が一堂に会する「第3回九州沖繩青年部合同例会」が控えています。今回、福岡同友会青年部連絡会では第1分科会を担当し、大牟田支部に所属する大牟田ビ

ンテージのまち(株)の富山博史さんに「地域創生」をテーマにした報告の準備を進めております。

来期は組織体制を刷新し、大きく2つのテーマで活動予定です。

1. 県や地区、支部の垣根を越えて交流する。特に九州の他県の青年部との連携を強化する。
2. 全国行事を開催できるほどになる福岡の青年経営者同士の活動の土壌を作る。

*2022年度より組織体制を変更。
代表1名、副代表4名(福岡地区2名、他3地区より1名ずつ)



青全交について

毎年秋に同友会青年経営者にとって大きな全国行事があります。「青年経営者全国交流会(青全交)」です。青年部連絡会では全国各県との青年部(青年部連絡会や青年部会など名称は様々)と交流があり、青全交の運営にも関わっています。分科会報告者の推薦や分科会の運営に携わり、規模の大きな全国行事の運営を体験する事が出来ます。

また「全国行事に参加してみたいけれど他県での例会に参加するのは不安」「青全交に申し込んだけれど知り合いもいないし、一人で行くのは不安」といった初参加の青年経営者の為にも青年部連絡会では全国の経営者との橋渡しを行っています。是非各支部の青年部連絡会幹事にお気軽にお声かけを頂ければと思います。

青年部連絡会幹事会 新三役メンバー



副代表 豊島 明弘
双葉交通(株)
(福友和支部)



副代表 齊藤 大作
アトモスダイニング(株)
(東支部)



代表 海野 康弘
(株)バウンディングパルス
(福友愛支部)



広報 坂本 和子
FP KiraRe
(博多支部)



副代表 稲葉 雄大
(株)イナバ
(久留米支部)



副代表 小屋根 雄作
(有)丸憲製作所
(のおがた支部)



副代表 村田 学
(株)北九州消防設備保守センター
(北九州支部)

5月の

行事案内

2022年度 地区・支部総会 一覧

福岡地区総会	5月17日(火)	16:00~17:00	福岡県中小企業振興センター大ホール (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011)
東支部総会	5月17日(火)	18:30~19:30	竹乃屋 福岡空港店 (福岡市博多区下臼井778-1 国内線3階南側 092-621-0020)
福博支部総会	5月17日(火)	18:00~19:30	福岡県中小企業振興センター 401B会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
博多支部総会	5月17日(火)	18:30~19:30	アクア博多(福岡市博多区中洲5丁目3-8 092-263-4770) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
中央支部総会	5月17日(火)	18:30~19:30	天神チクモビル(福岡市中央区天神3丁目10-27 092-715-3250) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
西支部総会	5月17日(火)	17:30~18:45	福岡県中小企業振興センター301会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
南支部総会	5月17日(火)	18:00~19:45	福岡県中小企業振興センター401A会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
筑紫支部総会	5月19日(木)	18:00~19:00	ロイヤルチェスター (大野城市雑餉隈町3-3-15 092-588-6688)
福友愛支部総会	5月24日(火)	18:00~19:25	QUANTIC(福岡市中央区天神2-3-33 0120-115-000) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
福友和支部総会	5月24日(火)	18:00~19:25	QUANTIC(福岡市中央区天神2-3-33 0120-115-000) +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
青年支部総会	5月17日(火)	18:00~19:00	福岡県中小企業振興センター303会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-622-0011)
玄海支部総会	5月17日(火)	17:30~18:30	同友会会議室(福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15-11 092-686-1234)
かすや支部総会	5月17日(火)	17:30~18:30	福岡県中小企業振興センター403会議室 (福岡市博多区吉塚本町9-15 092-686-1234)
糸島支部総会	5月17日(火)	18:30~19:30	波多江公民館(糸島市池田216番地1 092-322-1614)
北九州地区総会	5月16日(月)	17:30~19:30	第1部/記念講演17:30~18:50 第2部/地区総会18:50~19:30 高谷 幸一氏 株式会社ユニティ 代表取締役 福博支部 小倉リーセントホテル(北九州市小倉北区大門1-1-17 093-581-5673)
北九州支部総会	5月16日(月)	19:40~20:30	小倉リーセントホテル(北九州市小倉北区大門1-1-17 093-581-5673)
ひびき支部総会	5月16日(月)	19:40~20:30	小倉リーセントホテル(北九州市小倉北区大門1-1-17 093-581-5673)
筑豊地区総会	5月20日(火)	17:00~21:30	第1部/地区総会17:00~ 第2部/支部総会17:50~ 第3部/基調講演18:30~ 第4部/懇親会20:00~21:30 基調講演 地域金融の未来~金融機関・経営者・認定支援機関による価値共創~ 森 俊彦氏 一般社団法人日本金融人材育成協会 会長 エクセレントガーデン(直方市頓野4069-9 0949-26-8808) 昨年福岡同友会で行われた【資金繰りアンケート調査】の結果、約17%の中小企業が困っているとの回答がありました。皆さんは「伴走支援型融資」「専用当座貸越」「業績連動型資本性ローン」などご存知でしょうか?我々中小企業経営者は、いかなる場合においても、経営を維持発展させていく事が大変重要となります。そこで、今回の基調講演では、講師である森俊彦氏より、「中小企業意章を基に、中小企業が抱える金融問題、支援機関との連携・活用」に関して講演をして頂きます。
県南地区総会	5月19日(木)	18:00~19:00	原鶴温泉泰泉閣(朝倉市杷木志波20 0946-62-1140)
久留米支部総会	5月20日(金)	18:30~19:30	ハynesホテル久留米(久留米市天神町1-6 0942-32-7211)
大牟田支部総会	5月24日(火)	19:00~20:00	グランドホテル清風荘(大牟田市原山町2-4 0944-56-1212)
りょうちく支部総会	5月19日(木)	19:00~20:00	原鶴温泉泰泉閣(朝倉市杷木志波20 0946-62-1140)

第3回九州・沖縄ブロック 青年部合同例会in長崎 (青年部連絡会例会振替)

次代創成 時勢に応じて自分を変革せよ
~常に次代の変革者たれ~
5月13日(金) 13:00~21:00

記念講演 リーダーの成長が会社の成長 夢を共有する大航海
~社員が人生をかけるオンリーワン企業へ~
■梅田 益生氏 有限会社ウメイチ 代表取締役 岐阜同友会
分科会 13:00~16:00 受付・分科会・全体会 出島メッセ長崎
全体会 16:20~18:30
懇親会 19:00~21:00 懇親会 サンプリエール

23日 18:30~20:30

共育委員会
5月例会

社会人例会

■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
■川島 よう子氏 株式会社ライズ

24日 18:30~21:00

FAST
5月例会

■福岡県中小企業振興センター会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター

第38回中同協役員研修会

5月24日(火) 13:00~25日(水) 12:00

■岡山国際交流センター 岡山駅西口より徒歩3分
■会費:8,000円(懇親会は行いません。宿泊費は別)

5/24 第1講:同友会の歴史と理念~その体現者をめざして~
第2講:同友会の役員の役割~企業づくり、地域づくり、
同友会づくりの観点から~
5/25 第3講:同友会は「学んで実践」してこそ

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、開催方法などを変更する場合があります。予めご了承ください。

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで
お願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

2021年度 第11回 理事会だより

日時 2022年3月23日(水) 14時30分~17時31分
会場 WEB会議システムZoom
出席 40名(出席率90.9%) 議長 堀 弘道(副代表理事)

■永久劣後ローン特別委員会より

①委員会名称

委員会名称を「永久劣後ローン特別委員会」から「劣後ローン特別委員会」へ変更することとしました。理由としてはこれまでの運動を生かし、中同協と連携した全国的な運動に繋げていくためです。地域経済を支える中小企業・小規模事業者が経営を継続するためには、金融施策の早期実現が必要です。そしてそのためには委員会を通じて中同協金融プロジェクトでスムーズに協議を始める必要があります。

情勢が刻々と変化する中、委員会ではこれまで通り小規模企業も利用可能な資本性劣後ローン融資がどうす

れば実現できるかを地域金融機関や政府系金融機関、行政などと引き続き意見交換しながら考え提案していきます。「永久」は期限の定めがないこと。現行の資本性劣後ローン制度では中規模企業や一部の小企業しか対象となりません。期限の定めがあれども小規模企業も対象となる長期資本性劣後ローン制度の創設が必要です。

②意見書採択議会への報告文

これまで県内市町村議会に永久劣後ローン融資制度創設を求める意見書提出を求めてきました。採択頂いた23議会に永久劣後ローン創設運動の経過と今後に向けての報告、お礼をお伝えします。

■会員の動き

●表彰

- ・日刊工業新聞社主催 第32回 読者が選ぶ「ネーミング大賞」(2021年度)受賞
アイデアネーミング賞を受賞『ふたたび』(株)イナバ 稲葉 雄大氏(久留米支部)
- ・厚生労働省「働き方改革取組事例集掲載
宮田織物(株) 吉開 ひとみ氏(福友支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にて御覧下さい

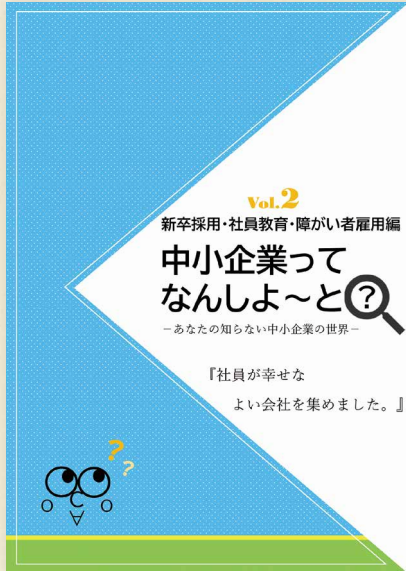


中小企業ってなんしょ〜と?Vol.2

(一社)福岡県中小企業家同友会 事務局 有馬 愛

みなさんこんにちは。福岡同友会事務局の有馬と申します。この度、事務局で「中小企業ってなんしょ〜と?」第2弾を発行しましたのでご案内致します。

今回は「新卒採用」「社員教育」「障がい者雇用」をテーマにしました。そして同友会企業の12社にインタビューを行い、それぞれのテーマについて取り上げて発信しています。また、共同求人委員会、共育委員会、バリアフリー委員会の紹介や中小企業の魅力、障がい者雇用のデータも掲載しています。



冊子「中小企業ってなんしょ〜と」の発行をはじめた目的は

- 1 中小企業に対する世の中の見方を変え、偏見を解消したい。
- 2 魅力ある多くの中小企業の情報を発信したい。
- 3 地元の学生が就職活動の時に見て、「こんな魅力ある中小企業が福岡にあるのなら、他県に出て行かずここで働きたい!」と思うような冊子にする。

です。私たち事務局の想いを形にした、手作りの冊子です。



私は株式会社鹿田産業の鹿田和正さん(福友和支部)に取材しました。鹿田さん自身が共同求人委員会や共育委員会で学ばれたこと、会員の仲間から得た社内での取り組みを自社に取り入れたこと、社員への思いもお聞きすることができました。

No.6 社員教育

理念の伝道師を育てたい

100年企業、天然素材の心地よさを世界へ

1912年創業の株式会社鹿田産業は、福徳県大牟田市で産材を中心に国内外産品を製造・輸入・販売する会社です。創業創業が守りたては職人が多く、少人数チームの奮闘がスタートをひたし、多くの製品が、別荘などで用いられています。2007年から人が人がデジタル機器を応用しフランス・イタリアの産品への生産など、グローバル展開を進めています。取組ではSDGsの取り組みが特徴的で、内製にも天然素材を多用する取組が盛んであり、職人の技術を誇りとして品質が高く評価され、海外の設計事務所にも採用されています。

学びの場

鹿田産業では自分の仕事とは関係なく「5S活動」や「チーム対決」、「1日1歩」など活動を通して、各社社員が主体的に活動して会社全体の向上に貢献しています。そして経営幹部層の中で毎月の勉強会をします。勉強会を各社員が主体的に活動して、関係がよくなるように活動が広がります。その結果各社員が主体的に活動して、関係がよくなるように活動が広がります。勉強会は15分間のグループ発表にします。その後に発表、質問と質疑応答を行います。関係がよくなるように活動が広がります。勉強会では15分間のグループ発表にします。その後に発表、質問と質疑応答を行います。関係がよくなるように活動が広がります。

社員が自ら行動するまで、何も言わない

中小企業同友会会の教育委員会を設立し、入社2年までの社員は、共同求人委員会の新人社員研修、半年研修、2・3年研修に参加。関係社員・管理職には、教育委員会の研修、リーダー研修、社会人研修に参加しています。関係社員が主体的に活動して、関係がよくなるように活動が広がります。その結果各社員が主体的に活動して、関係がよくなるように活動が広がります。勉強会では15分間のグループ発表にします。その後に発表、質問と質疑応答を行います。関係がよくなるように活動が広がります。

この冊子は同友会にお立ち寄りの際は閲覧・持ち帰り可能です。ぜひ、お手に取ってお読みいただけると嬉しいです。お問合せはVol.2発行推進担当の有馬までお願い致します。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 郵送、メールいずれも可。表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

送付先 郵送/下記「月刊同友」編集部まで メール/s_asahi@fukuoka.doyu.jp(福岡同友会事務局 旭まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

アンケートにご協力ください

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

回答締切 5月31日(火)

